

MOTOTRBO™



MOTOTRBO R2 Portable Radio User Guide

MARCH 2023

© 2023 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved



MN009532A01-AA

目次

| | |
|-------------------------------|----|
| 法務およびサポート..... | 6 |
| 知的財産および規制に関するご注意..... | 6 |
| 法的および準拠に関する声明..... | 7 |
| 供給元の適合宣言..... | 7 |
| 重要な安全に関する情報..... | 8 |
| ユーザーへの通告 (FCC)..... | 8 |
| ユーザーへの通告 (カナダ産業省)..... | 8 |
| 規制コンプライアンス情報..... | 8 |
| 保証とサービス サポート..... | 9 |
| バッテリーおよび充電器の保証..... | 9 |
| 製造上の保証..... | 9 |
| キャパシティ保証..... | 9 |
| 限定保証..... | 9 |
| MOTOROLA SOLUTIONS 通信製品..... | 9 |
| I. この保証の対象と期間:..... | 9 |
| II. 全般的な規定..... | 10 |
| III. 州法の権利:..... | 10 |
| IV. 保証サービスを受ける方法..... | 10 |
| V. 本保証の対象とならないもの..... | 10 |
| VI. 特許およびソフトウェアに関する条件..... | 11 |
| VII. 準拠法..... | 11 |
| VIII. オーストラリアのみ..... | 11 |
| 章 1: 最初にお読みください..... | 12 |
| 1.1 ソフトウェア バージョン..... | 13 |
| 章 2: はじめに..... | 14 |
| 章 3: 無線機のお手入れ..... | 15 |
| 3.1 新規無線機の保管..... | 15 |
| 3.2 無線機のクリーニングと消毒..... | 16 |
| 章 4: バッテリーの取り扱い..... | 17 |
| 4.1 バッテリーの保管..... | 17 |
| 4.2 バッテリーの長寿命化..... | 17 |
| 4.3 バッテリー充電温度..... | 17 |
| 4.4 バッテリーに関するその他の警告または注意..... | 17 |

| | |
|--|-----------|
| 章 5: 無線機の概要 | 18 |
| 5.1 プログラム可能ボタン..... | 19 |
| 5.2 LED 表示..... | 20 |
| 章 6: システムの概要 | 22 |
| 6.1 従来型アナログ モードおよびデジタル モード..... | 22 |
| 6.2 IP Site Connect..... | 22 |
| 6.3 Capacity Plus..... | 22 |
| 6.4 ダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モード..... | 23 |
| 章 7: 開始する | 24 |
| 7.1 バッテリーの充電..... | 24 |
| 7.2 バッテリーの取り付けまたは取り外し..... | 24 |
| バッテリーの取り付け..... | 24 |
| バッテリーの取り外し..... | 24 |
| 7.3 アンテナの取り付けまたは取り外し..... | 25 |
| アンテナの取り付け..... | 25 |
| アンテナの取り外し..... | 25 |
| 7.4 オーディオ ジャックのダストカバーを外す..... | 25 |
| 7.5 無線機の電源のオンまたはオフ..... | 26 |
| 無線機の電源のオン..... | 26 |
| 無線機の電源のオフ..... | 26 |
| 7.6 音量の調節..... | 26 |
| 7.7 ベルト クリップの使用..... | 26 |
| ベルト クリップの取り付け..... | 26 |
| ベルト クリップの取り外し..... | 27 |
| 7.8 キャリー ケースの使用..... | 27 |
| キャリー ケースに無線機を挿入する..... | 27 |
| キャリー ケースから無線機を取り外す..... | 27 |
| 章 8: 一般無線機設定 | 28 |
| 8.1 バッテリー強度の確認..... | 28 |
| 8.2 無線機のトーン/アラートの設定..... | 28 |
| 8.3 パワー レベルの設定..... | 28 |
| 8.4 スケルチ レベルの設定..... | 29 |
| 8.5 トリル拡張の設定..... | 29 |
| 8.6 音声ガイドの設定..... | 29 |
| 章 9: ゾーンとチャンネルの選択 | 30 |
| 9.1 ゾーンを選択..... | 30 |

| | |
|-----------------------------------|-----------|
| 9.2 チャンネル選択..... | 30 |
| 章 10: 無線機通信のタイプ..... | 31 |
| 10.1 無線機で通信を発信する..... | 31 |
| 10.2 無線機での通信の受信と応答..... | 32 |
| 章 11: ページング操作..... | 33 |
| 11.1 ページングの発信..... | 33 |
| 11.2 ページングへの応答..... | 33 |
| 章 12: パスワード ロック..... | 34 |
| 12.1 パスワードによる無線機へのアクセス..... | 34 |
| 12.2 ロック状態の無線機をロック解除する..... | 34 |
| 章 13: 緊急操作..... | 36 |
| 13.1 緊急アラームの送信..... | 37 |
| 13.2 通信による緊急アラームの送信..... | 37 |
| 13.3 緊急アラームと音声ガイドの送信..... | 37 |
| 13.4 緊急モードの再開..... | 38 |
| 13.5 緊急アラームの受信と緊急モードの終了..... | 38 |
| 緊急アラームの受信..... | 38 |
| 緊急モードの終了..... | 38 |
| 章 14: ローン ワーカー..... | 39 |
| 章 15: ホーム チャンネル リマインダ..... | 40 |
| 15.1 ホーム チャンネル リマインダのミュート..... | 40 |
| 15.2 新しいホーム チャンネルの設定..... | 40 |
| 章 16: ミュート モード..... | 41 |
| 16.1 ミュート モードのオン..... | 41 |
| 16.2 ミュート モードの終了..... | 41 |
| 章 17: 音声割り込み..... | 42 |
| 17.1 音声割り込みの有効化..... | 42 |
| 章 18: 通信割り込みの開始..... | 43 |
| 章 19: ダイレクト モード..... | 44 |
| 19.1 リピータとダイレクト モードの切り替え..... | 44 |
| 章 20: モニタ機能..... | 45 |
| 20.1 チャンネルのモニタ..... | 45 |
| 20.2 連続モニタ..... | 45 |
| 20.2.1 連続モニタの設定..... | 45 |
| 章 21: スキャン..... | 46 |

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 21.1 スキャンの設定..... | 46 |
| 21.2 スキャン トークバック..... | 47 |
| 21.3 迷惑チャンネル..... | 47 |
| 21.3.1 迷惑チャンネルの削除..... | 47 |
| 21.3.2 迷惑チャンネルの復元..... | 47 |
| 21.4 投票スキャン..... | 48 |
| 21.5 スキャン リスト..... | 48 |
| 21.6 フレックス RX リスト..... | 48 |
| 21.6.1 フレックス RX リストのオン..... | 48 |
| 21.6.2 フレックス RX リストのオフ..... | 48 |
| 章 22: テキスト メッセージング..... | 49 |
| 22.1 クイック テキスト メッセージの送信..... | 49 |
| 章 23: レンタル タイマー..... | 50 |
| 23.1 レンタル有効期限通知..... | 50 |
| 23.2 レンタル期間の延長..... | 50 |
| 章 24: 音声起動送信..... | 51 |
| 24.1 音声起動送信の設定..... | 51 |
| 章 25: プライバシー..... | 52 |
| 25.1 プライバシー対応通信..... | 52 |
| 25.2 プライバシーの設定..... | 52 |
| 章 26: 複数サイト コントロール..... | 53 |
| 26.1 自動サイト検索の開始と停止..... | 53 |
| 26.2 手動サイト検索の有効化..... | 53 |
| 章 27: アナログ スクランブル..... | 54 |
| 27.1 アナログ スクランブルの設定..... | 54 |
| 27.2 オートレンジ トランスポンダ システム..... | 54 |
| 章 28: 通信インジケータ設定..... | 55 |
| 28.1 ステップ アラート モード トーン..... | 55 |
| 章 29: 認定アクセサリ リスト..... | 56 |

法務およびサポート

知的財産および規制に関するご注意

著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータプログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータプログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。したがって、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータプログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

商標

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、および図案化された M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスの下に使用されます。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

ライセンスの権利

Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許申請の対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

オープン ソース コンテンツ

この製品には、ライセンスの下に使用されるオープン ソース ソフトウェアが含まれている場合があります。オープン ソースの法的通知および帰属の内容については、製品のインストール メディアを参照してください。

欧州連合 (EU) および英国 (UK) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令および英国の WEEE 規制では、EU 諸国および英国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) に車輪付きゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。WEEE 指令で規定されるとおり、この車輪付きゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国と英国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国と英国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービス センターに問い合わせる必要があります。

免責条項

特定のシステムに対して、本書で説明する特定の機能、設備、性能が適用されない、またはライセンス付与されない場合や、特定のモバイル加入者ユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する場合があります。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

© 2023 Motorola Solutions, Inc. 無断複写、転載を禁じます。

法的および準拠に関する声明

供給元の適合宣言

供給元の適合宣言
Per FCC CFR 47 Part 2 Section 2.1077(a)



責任者

名前: Motorola Solutions, Inc.

住所: 2000 Progress Pkwy, Schaumburg, IL.60196

電話番号: 1-800-927-2744

ここに以下の製品:

モデル名: **R2**

が以下の規制に適合していることを宣言します。

FCC Part 15、subpart B、section 15.107(a)、15.107(d) および section 15.109(a)

Class B デジタル デバイス

パーソナル コンピュータの周辺機器として、このデバイスは FCC 規則 の Part 15 に適合します。
この機器の動作は次の 2 つの条件を前提としています。

1 この機器は有害な干渉を発生しません。

- 2 この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。



注：

この機器は、テストの結果、FCC 規則 Part 15 に基づく Class B デジタル デバイスの制限に準拠していることが確認されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波干渉を起こさないようにするために規定されたものです。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な電波干渉を引き起こすおそれがあります。ただし、これは特定の設置状況で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。

この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こし、機器の電源のオン/オフ操作によってそのことが確認できる場合、以下の1つ以上の方法を用いて、お客様ご自身で電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変えてください。
- 本機器と受信機の距離を離してください。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに本機器を接続してください。
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に相談してください。

重要な安全に関する情報

携帯型業務用無線機に関する RF エネルギー被曝および製品の安全に関するガイド



注意：

この無線機は業務用の利用に限定されています。この製品をご使用になる前に、無線機に同梱されている『電磁波エネルギー被曝および製品の安全に関するガイド』をお読みください。このガイドには、安全な使用方法、RF エネルギーの認識、および該当する規格および規制への準拠の制御に関する操作手順が記載されています。

ユーザーへの通告 (FCC)

次の条件により、この機器は FCC 規則パート 15 に準拠しています。

- この機器は有害な干渉を発生しません。
- この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。
- Motorola Solutions による明示的な承認なくして本機器に変更または改変を加えた場合、本機器を操作するためのユーザーの権限が無効になることがあります。

ユーザーへの通告 (カナダ産業省)

Motorola Solutions の無線機の操作は、Radiocommunications Act の対象となり、連邦政府のカナダ産業省の規則や規制に準拠する必要があります。カナダ産業省では、プライベートの陸上移動周波数を使用するすべてのオペレータは、機器を運用する前に無線機ライセンスを取得する必要があります。

規制コンプライアンス情報



中国

CMII ID は、無線機器識別ラベルに表示されます。

保証とサービス サポート

バッテリーおよび充電器の保証

製造上の保証

製造上の保証では、正常な使用およびサービスにおいて発生する製造上の欠陥を保証します。

キャパシティ保証

キャパシティ保証では、保証期間に定格キャパシティの 80% を保証します。

限定保証

MOTOROLA SOLUTIONS 通信製品

I. この保証の対象と期間:

Motorola Solutions, Inc. (「Motorola Solutions」) は、以下に挙げる Motorola Solutions 製造の通信製品 (「製品」) を、以下に規定されたとおり、購入日から一定期間、通常の使用およびサービスで発生する製造上の不具合に対して保証します。

| | |
|---------|------|
| 製品アクセサリ | 1 年間 |
|---------|------|

この保証に従って保証期間内の返品が発生した場合、Motorola Solutions はその自由裁量により、無償で製品の修理 (新品または再生部品を使用)、製品の交換 (新品または再生製品)、または製品の購入価格での返金を行います。交換した部品またはボードは、元の該当保証期間から差し引いて保証されます。製品の交換済み部品はすべて Motorola Solutions の所有となります。

この明示的な限定保証は、購入したエンド ユーザー本人に対して Motorola Solutions が適用するものであり、第三者への譲渡または移転はできません。Motorola Solutions が製造した製品に対する保証は、これがすべてです。Motorola Solutions は、その権限を持つ Motorola Solutions の責任者が書面に記載して署名した場合を除き、この保証に対する追記や変更について、一切の義務または責任を負いません。

Motorola Solutions と購入したエンド ユーザー本人との間で別途契約が発生した場合を除き、Motorola Solutions は製品の設置、メンテナンス、またはサービスを保証しません。

Motorola Solutions は、Motorola Solutions が提供したもの以外の、製品に付属し使用される周辺機器または製品の周辺機器の操作については、いかなる責任も負いません。このような機器はすべてのこの保証の適用範囲外となります。本製品が使用されるシステムにはそれぞれ独自性があるため、Motorola Solutions は、本保証の下で稼働しているシステム全体としての領域、範囲、または運用に対する責任を負わないものとします。

II. 全般的な規定

この保証は、製品に関する Motorola Solutions のすべての責任を規定します。Motorola Solutions の選択で行われる修理、交換、購入代金の払い戻しは、排他的な救済策です。この保証は、その他すべての明示的な保証の代替となるものです。商品性および特定の目的への適合性の保証、およびそれらに限定されない暗黙的な保証は、この限定保証の期間内に限定されます。いかなる場合も、MOTOROLA SOLUTIONS は、製品を使用できないことによる損失、時間的損失、不都合、経済的損失、利益または資本の損失、または製品の使用または製品を使用できないことに起因する、その他の付随的損害、特別損害、もしくは結果的損害について、法律で許される最大限の範囲において、製品の購入価格を超える損害について責任を負いません。

III. 州法の権利:

州によっては、偶発的または付随的損失の除外または制限、または暗黙的保証の期間の制限を認めていない場合があるため、上記の制限または除外は適用されない場合があります。

この保証は特定の法的権利と、州によって異なるその他の権利を付与するものです。

IV. 保証サービスを受ける方法

保証サービスを受けるには、購入の証明 (購入の日付と購入品目のシリアル番号のあるもの) を提示し、送料または保険料の前払いを行ったうえで、認可された保証サービス窓口で製品を送付する必要があります。保証サービスは、認可された保証サービス窓口の 1 つを通じて Motorola Solutions によって提供されます。購入者が製品を購入した会社 (販売店、または通信サービス プロバイダなど) に最初に連絡すると、保証サービスを滞りなく受けられます。また、Motorola Solutions (1-800-927-2744) に電話にてご依頼いただくこともできます。

V. 本保証の対象とならないもの

- 1 正常かつ通常以外の方法で本製品を使用した結果生じた欠陥または損害。
- 2 誤用、事故、水、または不注意の結果生じた欠陥または損害。
- 3 不適切なテスト、操作、メンテナンス、設置、変更、改変、または調節の結果生じた欠陥または損害。
- 4 材質または製造上の欠陥に直接起因しないアンテナの破損または損傷。
- 5 本製品の性能に悪影響を及ぼす、または保証請求内容を検証するために Motorola Solutions が実施する本製品の標準保証検査およびテストの妨げとなるような、無許可の改変、分解、または修理 (Motorola Solutions 以外が提供した機器を本製品に追加することを含むがこれに限定されない) が行われた製品。
- 6 シリアル番号が消されているか判読できない製品。
- 7 次の条件に該当する充電式バッテリー。
 - セルのバッテリー カバー上のシールが破損しているか、不正な変更の証拠が見られる場合。
 - 破損または欠陥が、指定された製品以外の機器またはサービスでバッテリーを充電または使用したことにより生じた場合。
- 8 修理窓口までの運送費。
- 9 製品のソフトウェア/ファームウェアの不法または承認されていない改造により、Motorola Solutions が最初に製品を出荷した時点では準拠していた Motorola Solutions の公開仕様または FCC 認定ラベルのとおり機能しなくなった場合。
- 10 本製品の動作に影響を与えない、製品表面に付いた傷または他の表面的な損傷。
- 11 正常かつ通常の傷や磨耗。

VI.特許およびソフトウェアに関する条件

Motorola Solutions は、本製品または部品が米国特許権を侵害しているという請求に基づく範囲において、エンド ユーザーである購入者に対するいかなる訴訟でも、自ら費用を負担して抗弁します。また、Motorola Solutions は、そのような請求に基づく訴訟でエンド ユーザーである購入者に最終的に裁定された費用および損害賠償金を支払いますが、このような抗弁および支払いには、次のような条件が課されます。

- 1 該当する購入者が、該当する請求通知を書面で速やかに Motorola Solutions に通知すること。
- 2 Motorola Solutions が、そのような訴訟の弁護、および解決または和解のためのすべての交渉を独占的に管理すること。
- 3 本製品または部品が、米国特許権侵害の請求の対象となる場合、または Motorola Solutions がその可能性があると判断した場合、該当する購入者は、Motorola Solutions が、自由裁量により自ら費用を負担して、本製品または部品を使用し続ける権利を購入者のために獲得すること、本製品または部品を交換または修正して特許権侵害を解消すること、または本製品または部品の減価償却を購入者に対して認め、その返却を受け入れることを Motorola Solutions に許可すること。減価は、Motorola Solutions が規定する製品または部品の寿命年数に応じた金額となります。

Motorola Solutions は、Motorola Solutions が提供するものでないソフトウェア、装置、または機器とともに提供される製品または部品の組み合わせに基づく特許侵害の申立について、責任を負いません。また、Motorola Solutions は、製品に関連して添付または使用される、Motorola Solutions が提供するものでない周辺機器またはソフトウェアの使用について、一切の責任を負いません。上記の記載は、関連する製品または部品による特許の侵害に関する Motorola Solutions の全体的な責任について規定するものです。

米国およびその他の国の法律では、Motorola Solutions に対し、著作権で保護された Motorola Solutions 製ソフトウェアに関する一定の独占権を認めています。これには、該当する Motorola Solutions 製ソフトウェアを複製および配布する独占権などがあります。Motorola Solutions ソフトウェアは、ソフトウェアが本来同梱されている製品のみで使用できるものです。当該製品のソフトウェアは、あらゆる手段による交換、複製、配布、改変、またはその派生物を作成するための使用を禁じられています。Motorola Solutions ソフトウェアの改変、変更、複製、配布またはリバース エンジニアリングを含み、それらに限定されないその他の使用、または Motorola Solutions ソフトウェアの権利の行使は、禁止されています。Motorola Solutions の特許権または著作権のもとで、黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、ライセンスが付与されることはありません。

VII.準拠法

本保証は米国イリノイ州の法律に準拠します。

VIII.オーストラリアのみ

本保証は、Motorola Solutions Australia Pty Limited (ABN 16 004 742 312、住所: Tally Ho Business Park, 10 Wesley Court, Burwood East, Victoria) が規定するものです。

当社の製品はオーストラリア消費者法に基づいて除外できない保証が付帯しています。製品の重大な故障が発生した場合、購入者は交換または返金、およびその他の合理的に予見できる損失または損害に対する補償を受ける権利があります。また、商品が受け入れることができない品質で、かつその故障が重大な故障に至ることがない場合、購入者は製品を修理または交換することができます。

前述の Motorola Solutions Australia による限定的保証は、オーストラリア消費者法によって定められた権利および賠償に加えて提供されます。ご質問については、Motorola Solutions Australia までお電話 (1800 457 439) でお問い合わせください。また、最新の保証条件は、次の Web サイトでご確認いただけます。 http://www.motorolasolutions.com/XA-EN/Pages/Contact_Us

章 1

最初にお読みください

このユーザーガイドでは、お住まいの地域で提供される無線機モデルの基本的な操作について説明します。

このマニュアルで使用されている表記

本書のテキスト全体を通じて、警告、注意、および注が使用されています。これらの表記は、安全上の危険が存在すること、および注意を払うまたは注意する必要があることを強調するために使用されています。



警告：注意して守らないと負傷や死亡につながる可能性のある操作手順、慣行、状態など。



注意：注意して守らないと装置が損傷する可能性のある操作手順、慣行、状態など。



注：特に重要な操作手順、慣行、状態など。

特記事項

このガイドでは、次の特記事項を使用して特定の情報や項目を強調します。

表 1: 特記事項

| 例 | 説明 |
|----------------------------|--|
| メニュー キーまたは PTT ボタン | 太字は、キー、ボタン、またはソフトメニュー項目の名前を示します。 |
| 無線機に「Bluetooth オン」と表示されます。 | タイプライター文字で表された語句は、MMI 文字列または無線機に表示されるメッセージを示します。 |
| <必要な ID> | クーリエ、太字、斜体、および山形括弧は、ユーザーの入力を示します。 |
| [設定]→[トーン]→[全トーン] | 太字の語とその間の矢印は、メニュー項目のナビゲーション構造を示します。 |

機能およびサービスの可用性

販売店や管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。



注：

- お使いの無線機では、マニュアルのすべての機能が使用できるわけではありません。詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

以下については、販売店またはシステム管理者にお問い合わせください。

- 各ボタンの機能は何か？
- 自分のニーズに対応するアクセサリはどれか？
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか？

- 無線機を長く使用するための保守手段は何か？

1.1

ソフトウェア バージョン

以下のセクションで説明されているすべての機能が、ソフトウェア バージョン **R02.22.03.3001** 以降でサポートされます。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

章 2

はじめに

次の表では、無線機の機能にアクセスする方法について説明します。

表 2: 無線機の機能へのアクセスと通知

| ノンキーパッド | |
|----------|--|
| 無線機モデル | 図 1: R2 |
| 機能へのアクセス | プログラム可能ボタン |
| 機能の通知 | <ul style="list-style-type: none">• トーン• LED インジケータ• 音声ガイド |



注: プログラム可能ボタンで使用できる機能については、「[プログラム可能ボタン ページ 19](#)」トピックを参照してください。

章 3

無線機のお手入れ

このセクションでは、無線機の基本的な使用上のご注意について説明します。

表 3: IP 仕様

| IP 仕様 | 説明 |
|-------|--|
| IP55 | 無線機は、あらゆる方向からの低圧噴流水に耐えることができ、埃の侵入を制限して無線機を保護します。 |



注意：無線機を分解しないでください。分解すると無線機の密封部分が損傷し、無線機に漏洩箇所が生じることがあります。無線機のメンテナンスは、無線機の密封部分のテスト、交換が可能なサービスステーションで実施してください。

- 適切な機能および性能を保つために、無線機を清潔に保ち、浸水を避けてください。
- 無線機の外面をクリーニングするには、低刺激性の食器用洗剤を真水で希釈した液体 (たとえば、3 リットルの水に大さじ 1 杯の洗剤) を使用してください。
- 定期的な外観検査で染み、油分や汚れがあることに気が付いたときは、必ず外面をクリーニングしてください。



注意：特定の化学物質とその蒸気は、特定のプラスチックに有害な影響を及ぼす場合があります。エアゾール スプレー、チューナー クリーナーなどの化学製品は使用しないでください。

- 無線機をクリーニングする際には、高圧ジェット スプレーを使用しないでください。無線機に水が浸入する場合があります。

3.1

新規無線機の保管

手順:

- 1 バッテリーとアクセサリを無線機から取り外します。
- 2 取り外したバッテリーとアクセサリを元のパッケージに入れて、無線機を保管します。
- 3 パッケージは管理された環境で保管します。

管理された環境の条件とは、次のとおりです。

- 乾燥
- 高い通気性
- 温度範囲は 20°C ~ 30°C
- 湿度は 30% ~ 60%



注：無線機を長期間保管すると、若干の変色が発生することがあります。ただし、変色は通常、無線機のパフォーマンスには影響を与えません。

3.2

無線機のクリーニングと消毒

クリーニング手順

以下の手順では、無線機の外面と内面をクリーニングするために推奨される洗浄剤とクリーニング方法について説明します。外面には、前面カバー、ハウジング アセンブリ、バッテリーが含まれます。定期的な外観検査で染み、油分や汚れがあることに気が付いたときは、必ず外面をクリーニングしてください。



注意：化学薬品はすべて製造元の指定に従って使用してください。ラベルまたは材料安全データシートに記載されているすべての安全上の注意に従ってください。特定の化学物質とその蒸気は、特定のプラスチックに有害な影響を及ぼす場合があります。エアゾール スプレー、チューナー クリーナーなどの化学製品は使用しないでください。



注：内面は、保守または修理のために無線機を分解した場合にのみクリーニングしてください。

消毒手順

Motorola Solutions は、無線機の衛生状態についての最新かつ最善の理解に基づいて、無線機に推奨されるクリーニングおよび消毒方法のガイドラインを提供しています。世界的に活動する保健当局によれば、表面から細菌、汚れ、不純物を除去することで、感染拡大のリスクを低下させることができます。推奨されるクリーニングおよび消毒のガイドラインの詳細については、以下のリンクを参照してください。

- <https://youtu.be/cYjxoUNCXZo>
- <https://www.motorolasolutions.com/newsroom/press-releases/recommended-cleaning-and-disinfecting-guidelines-for-our-radios-body-worn-c.html>

章 4

バッテリーの取り扱い

このセクションでは、バッテリーの基本的な使用上のご注意について説明します。

4.1

バッテリーの保管

新しいリチウム イオン バッテリーは、風通しが良く、温度の低い、乾燥した場所に保管できますが、耐用期間中に、多少の容量ロスが発生します。

バッテリーを長期間保管する場合は、バッテリーを充電してください。完全に放電されたバッテリーは保管しないでください。

無線機を長期間 (数週間) 使用しない場合は、無線機からバッテリー パックを取り外します。

4.2

バッテリーの長寿命化

バッテリーは消耗品であり、無線機の寿命が切れるまでに交換しなければならない場合があります。

無線機の寿命を最大限に伸ばすために、常に Motorola Solutions の純正バッテリーと交換してください。

4.3

バッテリー充電温度

バッテリーの対応温度範囲は、充電モードで 0 ~ 45°C になります。充電時に温度が対応範囲から外れた場合、温度が適温に戻るまで充電が一時的に停止されるため、バッテリーが十分に充電されないことがあります。

4.4

バッテリーに関するその他の警告または注意

- 負傷しないように、金属製の物体がバッテリーの端子に触れないようにしてください。
- 分解しないでください。
- 焼却しないでください。
- バッテリーを生活廃棄物として廃棄しないでください。
- バッテリーはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 不具合のあるバッテリーは再利用できません。不具合のあるバッテリーは、国内の規制に従って環境に配慮した方法で廃棄する必要があります。

章 5

無線機の概要

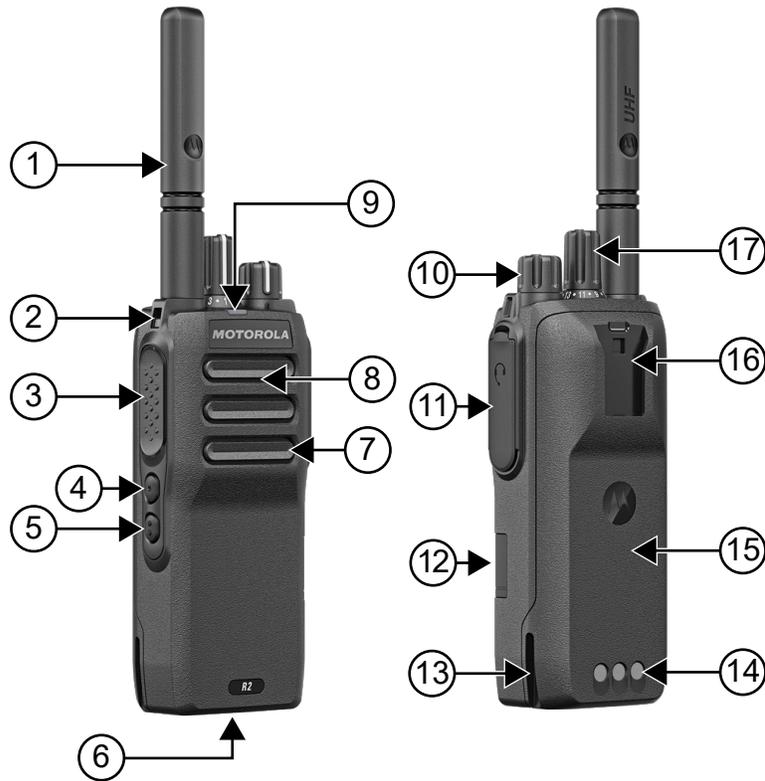


表 4: 無線機の概要

| ラベル | 名前 | 説明 |
|-----|---------------------|---------------------------------|
| 1 | アンテナ | 送受信時に必要とされる RF 増幅を提供します。 |
| 2 | ストラップ ホール | ストラップを無線機に取り付けできます。 |
| 3 | プッシュアウトーク (PTT) ボタン | 音声操作 (グループ通信や個別通信など) を実行できます。 |
| 4 | 1 ドット プログラム可能機能ボタン | 割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン。 |
| 5 | 2 ドット プログラム可能機能ボタン | 割り当て可能な無線機機能のプログラム可能ボタン。 |
| 6 | バッテリー ラッチ (無線機下部) | バッテリーをロックおよびロック解除します。 |
| 7 | マイク | PTT または音声操作がアクティブのときに音声を送信できます。 |

| ラベル | 名前 | 説明 |
|-----|---------------------|-------------------------------|
| 8 | スピーカ | 無線機によって生成されたすべてのトーンと音声を出力します。 |
| 9 | LED インジケータ | 稼働状態を示します。 |
| 10 | オン/オフ/音量ノブ | 無線機をオンまたはオフにしたり、音量を調整したりできます。 |
| 11 | ダスト カバー付きオーディオ ジャック | オーディオ アクセサリを無線機に接続できます。 |
| 12 | ダスト カバー付き Micro USB | プログラミング ケーブル USB を無線機に接続できます。 |
| 13 | 充電レール | 充電時に適切にセットするためのガイドです。 |
| 14 | 充電端子 | バッテリーの充電ポイント。 |
| 15 | バッテリー | 無線機に電源を供給します。 |
| 16 | ベルト クリップ スロット | ベルト クリップを取り付けることができます。 |
| 17 | チャンネル セレクタ ノブ | チャンネルを選択できます。 |

5.1

プログラム可能ボタン

プログラミング ソフトウェアを使用して、プログラム可能ボタンを次の無線機機能へのショートカットとしてプログラムできます。



注：詳細については、販売店にお問い合わせください。

表 5: 指定可能な無線機機能

| 機能 | 説明 |
|----------------------|--|
| ハウリング抑制 | 検出時に、受信した音声のハウリングを抑制できます。 |
| すべてのアラート トーン | すべてのトーンとアラートをオンまたはオフに切り替えることができます。 |
| アナログ スクランブル | アナログ スクランブル機能をオンまたはオフに切り替えることができます。 |
| アナログ スクランブル コード | アナログ スクランブル コード機能をオンまたはオフに切り替えることができます。 |
| チャンネル アナウンス | 現在のチャンネルのゾーンとチャンネル アナウンス音声メッセージを再生できます。 |
| 緊急通信オフ | 発信中の緊急通信を終了できます。 |
| 緊急通信オン | 緊急通信を設定できます。 |
| フレックス Rx リスト | 動的な Rx リストを有効または無効にできます。グループ メンバーを追加または削除する柔軟性をユーザーに提供します。 |
| ホーム チャンネル リマインダのミュート | ホーム チャンネル リマインダをミュートします。 |

| 機能 | 説明 |
|----------------|---|
| ホーム チャンネル リセット | 新規ホーム チャンネルを設定します。 |
| 手動サイト検索 | 手動サイト検索を開始できます。 |
| マイク AGC | 内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) をオンまたはオフに切り替えることができます。 |
| モニタ | チャンネルをモニタできます。 |
| ミュート モード | ミュート モードをオンまたはオフに切り替えることができます。 |
| 迷惑チャンネル削除 | 選択したチャンネルを除き、スキャン リストから不要なチャンネルを一時的に削除できます。削除された迷惑チャンネルは、たとえば無線機の電源をオフにしてから再度オンにすると、スキャン リストに復元されます (Capacity Plus では利用不可)。 |
| ワンタッチ アクセス | 事前に定義された通信機能に直接アクセスできます。 |
| 連続モニタ | 機能が無効になるまで、すべての無線機トラフィックの選択されたチャンネルをモニタすることができます (Capacity Plus では利用不可)。 |
| パワー レベル | 送信出力を高または低に切り替えることができます。 |
| プライバシー | プライバシーをオンまたはオフに切り替えることができます。 |
| リピータ/ダイレクト | リピータを使用するか、別の無線機と直接通信するかを切り替えることができます。 |
| アラート音タイプ | [アラート音タイプ] 設定に直接アクセスできます。 |
| スキャン | スキャンをオンまたはオフに切り替えることができます。 |
| サイト ロック | サイト ロックを有効にして現在のサイトのみを検索するか、サイト ロックを無効にして他のサイトも検索できるようにします。 |
| タイト/ノーマル スケルチ | タイト スケルチとノーマル スケルチを切り替えることができます (アナログ モードのみに適用)。 |
| TX 割り込みリモート停止 | チャンネルを解放するために、送信無線のキーを解除して進行中の音声通信を停止したり、リピータ通信のハング タイムを終了したりできます。このボタンを使用して、リモート モニタ セッションを終了することもできます。 |
| トリル拡張 | トリル拡張をオンまたはオフに切り替えることができます。 |
| 割り当て解除済み | ボタン機能が割り当てられていないことを示します。 |
| 音声ガイド | 音声ガイドをオンまたはオフに切り替えることができます。 |
| 音声起動送信 (VOX) | VOX をオンまたはオフに切り替えることができます。 |
| ゾーン切り替え | 4 つのゾーンを切り替えることができます。 |

5.2

LED 表示

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

有資格技術者は、事前プログラミングによって LED 表示を恒久的に無効にすることができます。

表 6: LED 表示

| 表示 | ステータス |
|-----------|---|
| 赤色の点滅 | <ul style="list-style-type: none"> 無線機は電源投入時のセルフテストに失敗しました。 無線機は低バッテリー状態で送信しています。 オートレンジ トランスポンダ システムで設定されている通信範囲から外れました。 |
| 黄色の点灯 | <ul style="list-style-type: none"> 無線機は従来型チャンネルをモニタしています。 プログラムされた【バッテリー インジケータ】ボタンを押したときに、十分なバッテリーが残っていることを示します。 |
| 黄色の点滅 | <ul style="list-style-type: none"> 無線機はページングにまだ応答していません。 無線機のフレックス RX リストが有効になっています。 |
| 黄色の 2 回点滅 | <ul style="list-style-type: none"> 無線機が新規サイトを検索しています。 無線機はグループのページングにまだ応答していません。 無線機はロックされています。 |
| 緑色の点灯 | <ul style="list-style-type: none"> 無線機が電源オンになっています。 無線機は送信を行っています。 プログラムされた【バッテリー インジケータ】ボタンを押したときに、バッテリーが完全に充電されていることを示します。 |
| 緑色の点滅 | <ul style="list-style-type: none"> 無線機は通信またはデータを受信しています。 無線機は無線接続アクティビティを検出しています。 |
| 緑色の 2 回点滅 | 無線機はプライバシー対応通信またはデータを受信しています。 |

章 6

システムの概要

システムの概要では、無線機で使用できるシステムとモードのタイプについて説明します。

6.1

従来型アナログ モードおよびデジタル モード

無線機の各チャンネルを、従来型アナログ チャンネルか従来型デジタル チャンネルとして設定できます。

デジタル モードからアナログ モード、アナログ モードからデジタル モードに切り替えると、一部の機能が使用できなくなります。また、一部の機能は、両方のモードで使用できます。

各機能の動作には若干の違いがありますが、無線機のパフォーマンスには影響しません。

6.2

IP Site Connect

この機能を使用すると、従来の単一のサイトでは無線機の通信範囲外となる場所でも、インターネット プロトコル (IP) ネットワークを使用して利用可能な別のサイトに接続して通信できます。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通信またはデータを送受信します。設定に応じて自動または手動で接続を切り替えます。

自動サイト検索では、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合に、利用可能なサイトをすべてスキャンします。次に、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いリピータにロックします。

手動サイト検索では、無線機は、信号強度が最も強いサイトを検索するのではなく、現在通信範囲内にあるローミング リストの次のサイトを検索し、リピータにロックします。



注：各チャンネルで、スキャンまたはローミングのどちらかを有効にできますが、両方同時に有効にはできません。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定のローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にローミング リスト内のチャンネルを検索し、最適なサイトを検出します。ローミング リストでは、最大 16 チャンネルを使用できます (選択したチャンネルを含む)。



注：手動では、ローミング リスト内のエントリの追加や削除はできません。詳細については、販売店にお問い合わせください。

6.3

Capacity Plus

Capacity Plus は、コスト効率に優れたエントリレベルのデジタル トランキング システムです。シングル サイトの容量と通信範囲を拡張します。このシングル サイト トランキング システムでは、容量と通信範囲が向上します。



注：プログラム可能ボタンを使用して Capacity Plus-シングルサイトに適用できない機能にアクセスしようとする、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

Capacity Plus-シングルサイトは、MOTOTRBO 無線機システムのシングルサイト トランキング構成であり、多数のユーザーと最大で 254 のグループをサポートするためのチャンネル プールを使用します。

この構成により、リピータ モードのとき、お使いの無線機で利用可能なプログラム済みチャンネルの数を有効活用できます。

無線機には、従来型デジタル モード、IP Site Connect、および Capacity Plus のいずれのモードでも利用できる機能もあります。

6.4

ダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モード

お客様が必要とする受信範囲内であれば、どのシステム ユーザーも、携帯型または車載型無線機の送信機の出力電力だけで、他のすべてのシステム ユーザーと直接通信でき、ダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モード システムを使用できます。

ダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モード (DCDM) は、リピータを使用しないシステムの直接無線機間通信です。無線機がダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モードで動作している場合、無線機は常に同じ周波数で送受信します。ダイレクト モードおよびデュアル キャパシティ ダイレクト モードは、エンド ユーザーに同様のサービスを提供しますが、デュアル キャパシティ ダイレクト モードはデジタル モードでのみ使用でき、12.5kHz 帯域幅チャンネルで 2 つの音声またはデータのパスを同時にサポートし、ダイレクト モードは 1 つだけサポートする点が異なります。また、いくつかのわずかな違いがあります。たとえば、デュアル キャパシティ ダイレクト モード チャンネルは GNSS 復帰チャンネルとして使用できません。

無線機は、1 つのダイレクト モード/デュアル キャパシティ ダイレクト モード周波数に限定されません。これらは、チャンネル セレクタ ノブで選択可能な異なる周波数を持つようにプログラムすることができます。

ダイレクト モードまたはデュアル キャパシティ ダイレクト モードでは、音声通信の無線ハング タイムは必要ありません。無線機には、内部通信 (「トークバック」) タイマーがあります。無線機はまだアクティブな通信のメンバーであるため、通信タイマーの期限が切れる前に使用されるチャンネル アクセス方式は、一斉です。これは、通信開始のためのチャンネル アクセスの選択 (個別または一斉) とは無関係です。

章 7

開始する

この章では、無線機を使用する前に準備する方法について説明します。

7.1

バッテリーの充電

お使いの無線機は、電源にリチウムイオン (Li-Ion) バッテリーを使用しています。

前提条件: 充電中は無線機の電源を切ってください。

手順:

- バッテリーは常に安全な場所で充電してください。バッテリーの充電後は、少なくとも 3 分間たってから無線機の電源を入れてください。
- 保証条件に準拠するため、および損傷を防ぐために、Motorola Solutions 承認充電器でバッテリーを充電してください。
- 最善の性能を出すためには、最初にご使用になる前に新しいバッテリーを 14 ~ 16 時間充電してください。

バッテリーの充電は室温するのが最適です。

7.2

バッテリーの取り付けまたは取り外し

バッテリーの取り付け

手順:

- 1 無線機の裏側のレールとバッテリーを合わせます。
- 2 バッテリーをしっかりと押し、ラッチが収まるまで上にスライドさせます。
- 3 バッテリー ラッチをロック ポジションまでスライドさせます。

バッテリーの取り外し

前提条件: 無線機の電源がオフになっていることを確認します。

手順:

- 1 バッテリー ラッチをロック解除ポジションに移動します。
- 2 バッテリー ラッチを完全に押し下げたままにします。
- 3 バッテリーを持ち、下にスライドさせてレールから外します。

7.3

アンテナの取り付けまたは取り外し

アンテナの取り付け

手順:

- 1 アンテナをレセプタクルにセットします。
- 2 アンテナを時計回りに回します。

アンテナの取り外し

手順:

- 1 アンテナを反時計回りに回します。
- 2 アンテナをレセプタクルから取り外します。

7.4

オーディオ ジャックのダストカバーを外す

手順:

- 1 オーディオ ジャックのダスト カバーを引き出し、反時計回りに回します。



注：オーディオ ジャック コネクタで、オーディオ ジャック アクセサリを無線機に接続
できます。

7.5

無線機の電源のオンまたはオフ

無線機の電源のオン

手順:

カチッという音が聞こえるまで、オン/オフ/音量ノブを時計回りに回します。

無線機がオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。



注：トーン/アラート機能が無効になっている場合、トーンは鳴りません。

- 緑色の LED が点灯します。



注：バッテリーが充電され、正しく取り付けられているにもかかわらず無線機の電源がオンにならない場合は、販売店に詳細をお問い合わせください。

無線機の電源のオフ

手順:

カチッという音が聞こえるまで、オン/オフ/音量ノブを反時計回りに回します。

7.6

音量の調節

手順:

- 1 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 音量を上げるには、オン/オフ/音量ノブを時計回りに回します。
 - 音量を下げるには、オン/オフ/音量ノブを反時計回りに回します。



注：
無線機には、最小音量のオフセットをプログラムできます。音量レベルはプログラムされた最小音量より下げることはできなくなります。

7.7

ベルト クリップの使用

ベルト クリップの取り付け

手順:

- 1 クリップの溝をバッテリーの溝に合わせます。
- 2 カチッと音がするまでベルト クリップを下にスライドします。

ベルト クリップの取り外し

手順:

- 1 リリース ラッチを持ち上げて、ベルト クリップのロックを解除します。
- 2 クリップを上にはスライドして、ベルト クリップ取り外します。

7.8

キャリー ケースの使用

キャリー ケースに無線機を挿入する

手順:

- 1 キャリー ケースのストラップの前面ボタンを外します。
- 2 スピーカを外に向けて、無線機をキャリー ケースに下向きに挿入します。
- 3 キャリー ケースのストラップの前面ボタンを留めます。

キャリー ケースから無線機を取り外す

手順:

- 1 キャリー ケースのストラップの前面ボタンを外します。
- 2 無線機を上方向にスライドさせ、キャリー ケースから離します。

章 8

一般無線機設定

このセクションでは、無線機で調整できる一般的な設定について説明します。

8.1

バッテリー強度の確認

手順:

プログラムされた【バッテリー インジケータ】ボタンを押します。

下記のいずれかの状態になります。

- 音声ガイドが鳴ります。
- LED が黄色に点灯し、バッテリー容量が一定量あることを示します。
- LED が緑色に点灯し、バッテリーが完全に充電されていることを示します。

8.2

無線機のトーンアラートの設定

手順:

プログラムされた【全トーンアラート】ボタンを押します。

正常に設定されると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

設定に失敗すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

8.3

パワー レベルの設定

手順:

プログラムされた【パワー レベル】ボタンを押して、より長いまたは短い距離で送信します。

正常に設定された場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 無線機は、希望するパワー レベルで送信します。

設定に失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 無線送信機能は変更されません。

8.4

スケルチ レベルの設定

手順:

プログラムされた [スケルチ] ボタンを押します。



注：既定の設定は [通常レベル] です。

正常に設定されると、無線機はタイト スケルチで動作し、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

設定に失敗すると、無線機はノーマル スケルチで動作し、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

8.5

トリル拡張の設定

歯茎ふるえ音 (巻き舌の「R」) の単語を多用する言語で話しているとき、この機能を有効にできます。

手順:

プログラムされた [トリル拡張] ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。

正常に設定されると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

設定に失敗すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

8.6

音声ガイドの設定

手順:

プログラムされた [音声ガイド] ボタンを押します。

正常に設定されると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

設定に失敗すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

章 9

ゾーンとチャネルの選択

ゾーンとは、チャネルのグループのことです。チャネルごとに、異なるユーザーグループをサポートするさまざまな機能をプログラムできます。

表 7: サポートされているゾーンとチャネルの数

| ゾーン | チャネル |
|-----|------|
| 4 | 64 |

9.1

ゾーンの選択

手順:

プログラムされた【ゾーン切り替え】ボタンを押します。

無線機には次の通知が表示されます。

- ゾーン 1 からゾーン 2 に切り替えると、ゾーン切り替えトーンが鳴ります。
- ゾーン 2 からゾーン 3 に切り替えると、ゾーン切り替えトーンが鳴ります。
- ゾーン 3 からゾーン 4 に切り替えると、ポジティブ トーンが鳴ります。
- ゾーン 4 からゾーン 1 に切り替えると、ネガティブ トーンが鳴ります。



注:

- ポジティブ トーンは、無線機が最後のゾーンに到達したことを示します。
- ネガティブ トーンは、無線機が最初のゾーンに戻ったことを示します。
- ゾーン切り替えトーンは、無線機が次の有効なゾーンを選択していることを示します。

9.2

チャネル選択

手順:

チャネル セレクタ ノブを回します。

無線機が優先するチャネルに切り替わります。

章 10

無線機通信のタイプ

無線機で使用可能な通信のタイプとシステムに応じて、無線機で通信を発信する方法にはいくつかあります。

表 8: 無線機通信のタイプ

| 通信タイプ | 説明 |
|------------------------|---|
| グループ通信 | グループ通信は、ポイントツーマルチポイント通信操作です。相互に通信するには、無線機がグループのメンバーとして設定されている必要があります。 |
| ブロードキャスト音声通信 | ブロードキャスト音声通信は、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通信です。ブロードキャスト通信機能では、通信を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通信の受信者は応答できません。 |
| 個別通信 | 個別通信とは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信です。無線機のプレゼンス チェックを実行した後で、個別通信を設定するか、すぐに通信できます。 |
| 選択通信 | 選択通信とは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信です。この機能はアナログ システムでのみサポートされています。 |
| 一斉通信 | 一斉通信は、1 台の無線機からサイトの各無線機またはサイトグループの各無線機への通信です。この機能は、重要なお知らせを行うために使用されます。 |
| 未アドレス通信 | 未アドレス通信とは、事前に定義された 16 のグループ ID のいずれかに対するグループ通信です。 |
| オープン音声チャンネル モード (OVCM) | OVCM とは、グループまたは個別通信中に特定のシステムで動作するように事前に設定されていない無線機からの通信です。OVCM グループ通信はブロードキャスト通信に対応しています。 |

通信が中断されると、連続した通信禁止音が聞こえます。**PTT** ボタンを放すと、通信を受信できます。チャンネル フリー指示機能は、販売店が無線機でプログラムできます。チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、受信者が **PTT** ボタンを放したときに、短いアラート トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

10.1

無線機で通信を発信する

手順:

- 1 通信のタイプに基づいて、次のいずれかの操作を実行します。

| オプション | 操作 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| グループ通信、個別通信、アドレス指定されていない通信、または選択通信の発信 | a アクティブな ID またはエイリアスがあるチャンネルを選択します。 |

| オプション | 操作 |
|--------------------------------|--|
| | <p>b 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。</p> <p>c 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。</p> <p> 注：グループ通信の場合、PTT サイドトーンが完了するまで待機し、有効になったら、マイクに向かって話してください。</p> <p>d 受話するには、PTT ボタンを放します。</p> |
| ブロードキャスト通信、一斉通信、または OVCM 通信の発信 | <p>a アクティブなグループ ID またはエイリアスがあるチャンネルを選択します。</p> <p>b 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。</p> |

無線機が、音声アクティビティを事前に設定された期間検出しない場合、通信は終了します。

10.2

無線機での通信の受信と応答

通信を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。



注：ブロードキャスト通信または一斉通信には応答できません。

手順:

- 1 応答するには、**PTT** ボタンを押し続けます。
- 2 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。

 注：グループ通信の場合、**PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、有効になったら、マイクに向かって話してください。
- 3 受話するには、**PTT** ボタンを放します。

章 11

ページング操作

ページング機能により、相手が応答できる状態になったらかけ直すよう、受信者に通知できます。この機能は、無線機のサブスクライバ エイリアスまたは ID にのみ適用されます。

11.1

ページングの発信

手順:

- プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンを押します。
- 緑色の LED が点灯します。

リクエストが正常に行われた場合、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

リクエストに失敗すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

11.2

ページングへの応答

ページングを受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。

手順:

- **PTT** ボタンを押して、個別通信で発信者に応答します。

章 12

パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力する必要があります。

無線機では、4桁のパスワード入力を使用できます。

ロック状態の無線機は、通信を受信できません。

これらのボタンは、パスワードを入力するときに数字キーパッドとして機能します。

チャンネル セレクタ ノブ

ポジション 1～9: 数値 1～9

ポジション 10: 数値 10

サイド ボタン

サイド ボタン 1 および 2: 数値 1 および 2

12.1

パスワードによる無線機へのアクセス

手順:

- 1 チャンネル セレクタ ノブを使用して、4桁のパスワードの最初の数字を入力します。
- 2 サイド ボタン 1 または 2 を押して、パスワードの残りの 3桁を入力します。

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源がオンになります。

1回目と2回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、トーンが鳴り続けます。

3回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が 2 回点滅します。
- 無線機は 15 分間ロック状態になります。



注:

この手順を繰り返して、パスワードを入力できます。無線機が 15 分間ロック状態になるまでに 3 回試行できます。15 分間待ってから、手順を繰り返します。

ロック状態の間に無線機の電源を再起動すると、タイマーが再開します。

12.2

ロック状態の無線機をロック解除する

手順:

- 1 ロック状態の無線機のロックを解除するには、次のいずれかの操作を実行します。

| オプション | 操作 |
|---------------------------------|---|
| 無線機の電源がオンの場合は、ロック状態の無線機をロック解除する | <p>a 15 分間待機します。</p> <p>b パスワードによる無線機へのアクセス ページ 34 の手順に従って、無線機にアクセスします。</p> |
| 無線機の電源がオフの場合は、ロック状態の無線機をロック解除する | <p>a 無線機の電源を入れます。</p> <p> 注：ロック状態の 15 分タイマーが再起動されます。</p> <p>b 15 分間待機します。</p> <p>c パスワードによる無線機へのアクセス ページ 34 の手順に従って、無線機にアクセスします。</p> |

章 13

緊急操作

緊急アラームは、重大な状況を示すために使用されます。緊急アラームは、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、随時開始できます。

各チャンネルの緊急ボタンに割り当てることができる緊急モードのタイプは 1 つだけです。無線機は、次の緊急モードをサポートしています。

表 9: 緊急モード

| 緊急モード | 説明 |
|---------------------|---|
| 緊急アラーム | 緊急アラームは音声通信ではありません。このアラームは、受信するようにプログラムされている無線機に送信される緊急通知です。 |
| 通信による緊急アラーム | お使いの無線機が、緊急アラームを送信します。緊急アラームが承認されると、無線機グループは割り当てられた緊急チャンネルを介して通信できます。話すには、 PTT ボタンを長押しします。 |
| 音声ガイドによる緊急アラーム | お使いの無線機が、緊急アラームを送信します。緊急アラームを承認すると、無線機のマイクが自動的にアクティブになります。これはホットマイクと呼ばれます。ホットマイクを使用すると、 PTT ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。 |
| |  注： <ul style="list-style-type: none">緊急サイクルモードが有効な場合、プログラムされた期間、ホットマイクと受信期間が繰り返されます。プログラムされたホットマイクの受信期間中に PTT ボタンを押し続けると、無線機は通信を開始し、ホットマイクの受信期間タイマーを停止します。無線機は緊急モードを保持します。PTT ボタンを離すと、ホットマイクの受信期間タイマーが再開します。緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接ホットマイクに入ります。 |
| サイレント緊急アラーム | 無線機が緊急通知を送信しますが、音声インジケータや視覚的インジケータは示されません。 |
| 通信によるサイレント緊急アラーム | 無線機が緊急通知を送信しますが、音声インジケータや視覚的インジケータは示されません。無線機では、 PTT ボタンを押し続けて通信するまで、緊急のすべての音声インジケータと視覚インジケータが抑制されます。 |
| 音声ガイドによるサイレント緊急アラーム | 無線機が緊急通知を送信しますが、音声インジケータや視覚的インジケータは示されません。緊急アラームが承認されると、ホットマイクが有効になります。 PTT ボタンを押さなくても、無線機グループと通信できます。 |
| |  注： PTT ボタンを押したときにのみ、インジケータが表示されません。 |

販売店は、緊急オンまたはオフ機能、および緊急ボタンを押す長さを設定できます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

販売店は緊急検索トーンをプログラムできます。トーンがプログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、無線機の緊急モードが終了すると停止されます。

13.1

緊急アラームの送信

手順:

プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

アラームが正常に送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。

すべての再試行後にアラームの送信が失敗した場合、無線機には次の通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。

13.2

通信による緊急アラームの送信

手順:

- 1 プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

アラームが正常に送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。

- 2 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。
- 3 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
- 4 受話するには、**PTT** ボタンを放します。

無線機が、音声アクティビティを事前に設定された期間検出しない場合、通信は終了します。

13.3

緊急アラームと音声ガイドの送信

手順:

- 1 プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

アラームが正常に送信されると、緊急トーンが鳴り、ホット マイクが有効になります。

- 2 **PTT** ボタンを押さずにマイクに向かって話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクル モードが有効で、ホット マイクと通信受信のサイクルの期限が切れた場合。
- 緊急サイクル モードが無効で、ホット マイクの期限が切れた場合。

13.4

緊急モードの再開

手順:

- 1 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 無線機が緊急モードの間に、チャンネルを変更します。



注：新しいチャンネルで緊急アラームを有効にした場合にのみ、緊急モードを再開できます。

- 緊急の起動または転送ステータス時に、プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

無線機は緊急モードを終了し、再び緊急モードになります。

13.5

緊急アラームの受信と緊急モードの終了

緊急アラームの受信

受信側無線機は一度に1つのみ、緊急アラームをサポートできます。複数のアラームを受信した場合、2番目の緊急アラームは1番目のアラームより優先されます。

緊急アラームを受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 赤色のLEDが点滅します。

緊急モードの終了

次のシナリオが発生すると、無線機は自動的に緊急モードを終了します。

- システムから確認応答を受信した場合 (緊急アラームの場合のみ)。
- アラームを送信するすべての再試行が失敗した場合。
- 無線機の電源をオフにした場合。無線機の電源を入れても、緊急モードは自動的に再開されません。
- 現在のチャンネルを緊急事態でないチャンネルに変更した場合。

手順:

緊急モードを終了するには、プログラムされた【緊急通信オフ】ボタンを押します。

緊急事態が正常に終了すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが停止します。
- 赤色のLEDが消灯します。

章 14

ローンワーカー

この機能を使用すると、事前に定義した期間中にユーザー操作 (ボタンの押下やチャンネル セレクタの有効化など) がない場合に、緊急事態を発生させることができます。

事前定義した期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声インジケータでユーザーに事前に警告します。

事前に定義された通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合、無線機は販売店がプログラムした緊急事態を開始します。

章 15

ホームチャンネルリマインダ

これは、無線機がしばらくホームチャンネルにセットされていない場合に通知を出す機能です。

この機能を有効にしているとき、無線機がしばらくの間ホームチャンネルにセットされていないと、以下の通知が定期的に繰り返されます。

- トーンとホームチャンネルリマインダのアナウンスが鳴ります。

15.1

ホームチャンネルリマインダのミュート

ホームチャンネルリマインダが鳴った場合に、リマインダを一時的にミュートできます。

手順:

プログラムされた【ホームチャンネルリマインダのミュート】ボタンを押します。

15.2

新しいホームチャンネルの設定

ホームチャンネルリマインダが通知された場合は、新しいホームチャンネルをセットできます。

手順:

【ホームチャンネルをリセット】プログラム可能ボタンを押します。

章 16

ミュートモード

ミュートモードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュートモードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュートモードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。

16.1

ミュートモードのオン

手順:

プログラムされた【ミュートモード】ボタンを押します。

ミュートモードが有効な場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブトーンが鳴ります。
- 赤色のLEDライトが点滅し、ミュートモードが終了するまで点滅し続けます。
- 無線機がミュートに設定されます。
- ミュートモードタイマーが設定されると、タイマーは設定された時間のカウントダウンを開始します。

16.2

ミュートモードの終了

ミュートモードタイマーの期限が切れると、無線機は自動的にミュートモードを終了します。ミュートモードは手動で終了することもできます。

手順:

次のいずれかの操作を実行して、ミュートモードを手動で終了します。

- プログラムされた【ミュートモード】ボタンを押します。
- **PTT** ボタンを押し続け、マイクに向かって話します。

ミュートモードが無効な場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブトーンが鳴ります。
- 点滅している赤色のLEDが消灯します。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカの状態が復元されます。
- タイマーの期限が切れていない場合でも、ミュートモードタイマーは停止します。

章 17

音声割り込み

音声割り込みを使用すると、無線機は進行中の通信を終了できます。

音声割り込み機能は、逆チャンネル シグナリングを使用して進行中の通信に割り込みます。割り込み中に音声送信を行うことができます。

音声割り込み機能によって、通信中の受信者に対して新たに送信を行う確率が大幅に上がります。

この機能が無線機にプログラムされている場合は、音声割り込みにアクセスできます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

17.1

音声割り込みの有効化

手順:

- 1 通信中に送信に割り込むには、**PTT** ボタンを長押しします。
- 2 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。

章 18

通信割り込みの開始

手順:

進行中の通信に割り込むには、次のいずれかの操作を実行します。

- **PTT** ボタンを押します。
- **[緊急]** ボタンを押します。
- プログラムされた **[TX 割り込みリモート停止]** ボタンを押します。

章 19

ダイレクト モード

この機能を使用すれば、リピータが作動していない場合や、お使いの無線機がリピータの圏外にある場合でも、通信範囲内にある他の無線機との通信を継続できます。

ダイレクト モード設定は、電源を切った後も保持されます。



注：この機能は Capacity Plus-シングルサイトでは利用できません。

19.1

リピータとダイレクト モードの切り替え

手順:

プログラムされた【リピータ/ダイレクト】ボタンを押して、無線機のリピータ モードまたはダイレクト モードを切り替えます。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴り、無線機がダイレクト モードであることを示します。

ネガティブ インジケータ トーンが鳴り、無線機がリピータ モードであることを示します。

章 20

モニタ機能

この機能を使用すると、ターゲット無線機のマイクをリモートで有効にできます。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティを監視できます。



注：この機能は Capacity Plus-シングルサイトでは利用できません。

20.1

チャネルのモニタ

手順:

- 1 プログラムされた [モニタ] ボタンを押し続けます。
無線機には次の通知が表示されます。
 - 無線機のアクティビティが聞こえます。
 - 黄色の LED が点灯します。
- 2 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。
- 3 受話するには、**PTT** ボタンを放します。

20.2

連続モニタ

連続モニタ機能は、選択したチャネルのアクティビティを継続的にモニタするために使用します。

20.2.1

連続モニタの設定

手順:

プログラムされた [連続モニタ] ボタンを押します。

無線機がこのモードに入ると、無線機に次のような通知が表示されます。

- アラート トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。

無線機がこのモードを終了すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- アラート トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が消灯します。

章 21

スキャン

スキャンを開始すると、現在のチャンネルでプログラムされたスキャン リストが順番にスキャンされ、音声アクティビティを探します。デジタル チャンネルを使用していて、無線機がアナログ チャンネルで音声アクティビティを検出した場合、無線機は自動的にデジタル モードからアナログ モードに切り替わって音声通信を開始します。アナログ チャンネルを使用している場合も同じ動作が発生します。

表 10: スキャン方法

| 方法 | 説明 |
|---------------------|--|
| メイン チャンネル スキャン (手動) | 無線機は、スキャン リストにあるすべてのチャンネルまたはグループをスキャンします。スキャンするときは、設定に応じて、自動的に最後にスキャンしたアクティブ チャンネルまたはグループのスキャンから開始されることも、スキャンが開始されたチャンネルからスキャンが開始されることもあります。 |
| 自動スキャン (自動) | 自動スキャンが有効になっているチャンネルまたはグループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。 |

スキャン リストにあるグループまたはチャンネルからの通信を逃した場合は、次のような状況が発生している可能性があります。

- スキャン機能がオンになっていません。
- すでに別の通信に参加しています。



注：異なるゾーンの無線機がゾーン スキャン リスト メンバーの通信に参加し、応答可能になる前に通信ハング タイマーの期限が切れた場合、スキャン リスト メンバーのゾーンとチャンネルに移動し、新しい通信を開始して応答する必要があります。

21.1

スキャンの設定

手順:

プログラムされた【スキャン】ボタンを押して、スキャンを開始または停止します。

スキャンがオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。

スキャンがオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。

21.2

スキャン トークバック

トークバック機能を使用すると、スキャンの実行中に送信に応答できます。

選択可能なグループ スキャン リストから無線機が通信をスキャンするときに PTT ボタンを押すと、スキャン トークバック機能の設定に応じて、2 つの異なる状況が発生します。

表 11: スキャン トークバック タイプ

| タイプ | 説明 |
|---------------|--|
| スキャン トークバック無効 | 進行中のスキャンされた通信中に PTT ボタンを押すと、スキャンされた通信は終了し、新しい通信が開始されます。 |
| スキャン トークバック有効 | 進行中のスキャンされた通信中に PTT ボタンを押すと、スキャンされた通信にトークバックできます。 |



注：

次の状況が発生している場合：

1 現在選択されているゾーンのチャンネルの位置に割り当てられていないグループの通信をスキャンしている。

2 通信のハング タイムを逃した。

次の操作を実行します。

1 適切なゾーンに切り替える。

2 グループのチャンネルの位置を選択し、そのグループにトークバックする。

21.3

迷惑チャンネル

迷惑チャンネルは、不要な通信を継続的に生成するチャンネルです。

不要なチャンネルをスキャン リストから一時的に削除して、後で復元することができます。この機能は、選択チャンネルとして指定されているチャンネルには適用されません。

21.3.1

迷惑チャンネルの削除

前提条件: 無線機がスキャンされ、迷惑チャンネルになりました。

手順:

1 トーンが聞こえるまで、プログラムされた [迷惑チャンネル削除] ボタンを押します。

2 プログラムされた [迷惑チャンネル削除] ボタンを放します。

21.3.2

迷惑チャンネルの復元

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- 無線機を再起動します。
- スキャンをオフにした後、オンにします。
- チャンネルセレクタノブでチャンネルを変更します。

21.4

投票スキャン

投票スキャン機能は、複数の基地局がさまざまなアナログチャンネルで同じ情報を送信しているエリアを幅広くカバーします。

無線機は、複数の基地局のアナログチャンネルをスキャンし、ボーディング (投票) プロセスを実行して最大強度の受信信号を選択します。

投票スキャン中は、黄色の LED が点滅します。

21.5

スキャンリスト

個々のチャンネルまたはグループをスキャンリストで作成して割り当てることができます。無線機は、現在のチャンネルまたはグループのスキャンリストで指定されたチャンネルまたはグループ系列を循環して、音声アクティビティをスキャンします。

無線機では、最大 64 のスキャンリストを使用できます。リスト内の最大メンバー数は 16 です。各スキャンリストには、アナログとデジタルのエントリを混在させることができます。

21.6

フレックス RX リスト

フレックス RX リスト機能では、受信グループリストのメンバーの作成と割り当てができます。

お使いの無線機は、このリストに含まれる 16 名まで対応できます。



注：この機能は Capacity Plus でのみ利用できます。

21.6.1

フレックス RX リストのオン

手順:

プログラムされた [フレックス RX リスト] ボタンを押します。

無線機には次の通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。

21.6.2

フレックス RX リストのオフ

手順:

プログラムされた [フレックス RX リスト] ボタンを押します。

無線機には次の通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。

章 22

テキスト メッセージング

無線機は、別の無線機にデータ (テキスト メッセージなど) を送信できます。

22.1

クイック テキスト メッセージの送信

手順:

事前に定義されたクイック テキスト メッセージを事前に定義されたエイリアスに送信するには、プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。

テキスト メッセージが正常に送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点灯します。

テキスト メッセージの送信に失敗すると、ネガティブ トーンが鳴ります。

章 23

レンタル タイマー

レンタル タイマー機能を使用すると、無線機レンタル取扱店は、無線機の許可されたレンタル期間を設定し、タイマーで指定された期間以降は無線機を自動的に無効にできます。

無線機には、最長レンタル期間 999 時間と最長レンタル延長期間 99 時間をプログラムできます。

タイマーは、無線機の使用時間を計算し、使用時間があらかじめ決められたレンタル期間に達すると無線機を無効にします。

レンタル期間が切れた後は、販売店がレンタル タイマーをリセットするまで無線機は機能を停止します。

23.1

レンタル有効期限通知

レンタル有効期限通知機能は、レンタル期間の満了が近づいているときに通知します。

無線機は、タイマーの有効期限を音声で通知します。この機能では、最大で有効期限の 9 時間前から通知され、1 時間ごとにも通知されます。

有効期限まで **9 時間**または事前に設定された通知時間

「Rental Expiring Soon」という音声ガイドが鳴り、その後 1 時間ごとに繰り返されます。

有効期限の **2 時間前**

「Rental Expiring Soon」という音声ガイドが 2 回鳴り、その後 1 時間ごとに繰り返されます。

有効期限の **3 分前**

「Rental Expiring Soon」という音声ガイドが 2 回鳴り、その後 1 分ごとに繰り返されます。

レンタル期間が終了すると、「Rental Expired」という音声ガイドが鳴ります。

無線機が無効な状態になります。

23.2

レンタル期間の延長

無線機には、最大 99 時間のレンタル期間延長をプログラムできます。



注：レンタル期間は 1 回のみ延長できます。

手順:

- サイド ボタン **2** を 6 回続けて押します。

いずれかの状態になります。

- レンタル期間が満了する前に延長が行われた場合、「Rental Period Extended」という音声ガイドが鳴り、レンタル期間が延長されたことを示します。
- レンタル期間の終了後に延長が実行された場合、無線機は自動的に再起動します。

章 24

音声起動送信

音声起動送信 (VOX) により、プログラムされたチャンネルでハンズフリーの音声起動通信を開始できます。VOX 対応アクセサリが音声を検出すると、無線機はプログラムされた期間、自動的に送信します。



注：

この機能は、同じ周波数の市民バンド チャンネルには適用されません。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

24.1

音声起動送信の設定

手順：

プログラムされた **[VOX]** ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。

章 25

プライバシー

この機能により、ソフトウェアベースのスクランブルソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぎます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はクリアです。

プライバシー対応で送信するには、無線機のチャンネルにプライバシーを設定する必要があります。ただし、プライバシーを設定していなくても受信はできます。

無線機のモデルによっては、プライバシー機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、販売店にお問い合わせください。

一度に割り当てることができるのは、1つのタイプのプライバシーのみです。

サポートされているプライバシータイプは、基本プライバシーと拡張プライバシーです。

25.1

プライバシー対応通信

プライバシー対応送信を送るには、現在選択されているチャンネル位置で、プライバシー機能が有効になっている必要があります。プライバシー対応チャンネル上で、無線機はクリアな送信を引き続き受信できます。

現在選択されているチャンネル位置でプライバシーが有効にされている場合は、お使いの無線機から発信されるすべての音声送信がスクランブルされます。グループ通信、スキャンされた通信間のトークバック、一斉通信、緊急通信、個別通信が対象です。お使いの無線機と同じプライバシーキーまたはキー値とキーIDを持つ受信側無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。

プライバシー対応の通信をスクランブル解除するには、送信側の無線機と同じプライバシーキーのタイプ、キー値およびキーIDを無線機にプログラムする必要があります。無線機が、異なるプライバシーキー、またはキー値とキーIDのスクランブル通信を受信した場合、音声は理解できないノイズになるか、ミュートになります。

25.2

プライバシーの設定

手順:

プログラムされた【プライバシー】ボタンを押します。

章 26

複数サイト コントロール

無線機は、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合は、サイトを検索してサイト間を切り替えられます。

信号が強ければ、無線機は現在のサイトに留まります。無線機では、次のいずれかのサイト検索を実行できます。

- 自動サイト検索
- 手動サイト検索

現在のチャンネルがローミング リスト付きの複数サイト チャンネルで、通信範囲外であり、サイトがロック解除されている場合、無線機は自動サイト検索を実行します。

26.1

自動サイト検索の開始と停止

手順:

プログラムされた [サイト ロック オン/オフ] ボタンを押します。

無線機が新しいサイトを見つけると、無線機には次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 無線機が新しいサイトを検索している間、LED が黄色で素早く点滅します。
- 無線機がサイトをロックすると、黄色の LED は消灯します。

無線機が新しいサイトを見つけられない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。

26.2

手動サイト検索の有効化

手順:

プログラムされた [手動サイト ローミング] ボタンを押します。

トーンが鳴り、緑色の LED が点滅します。

無線機が新しいサイトを見つけると、無線機には次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。

無線機が新しいサイトを見つけられない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。

章 27

アナログ スクランブル

このアナログ専用機能は、チャンネル上の不正ユーザーによる盗聴を防止します。

アナログ スクランブルが有効な送信を送受信するには、無線機がチャンネルでアナログ スクランブルが有効になっている必要があります。アナログ スクランブルが有効なチャンネルでは、クリアな、またはスクランブルされていない送信を受信することができません。

無線機では、3つのアナログ スクランブル コードを使用できます。これらのコードは、プログラム可能ボタンを使用して切り替えることができます。

27.1

アナログ スクランブルの設定

手順:

プログラムされた [アナログ スクランブル] ボタンを押します。

27.2

オートレンジ トランスポンダ システム

オートレンジ トランスポンダ システム (ARTS) はアナログのみの機能で、無線機が ARTS を搭載した他の無線機の通信圏外にあるときに通知するよう設計されています。

ARTS を搭載した無線機は、定期的に信号の送受信を行って、互いに通信圏内にあることを確認します。

無線機は、次のような通知を表示します。

表 12: オートレンジ トランスポンダ システム通知

| 表示 | 説明 |
|-------------|--|
| 初回警告 | <ul style="list-style-type: none">トーンが鳴ります。 |
| ARTS 通信圏内警告 | <ul style="list-style-type: none">プログラムされている場合はトーンが鳴ります。 |
| ARTS 通信圏外警告 | <ul style="list-style-type: none">トーンが鳴ります。赤色の LED が素早く点滅します。 |

章 28

通信インジケータ設定

この機能を使用すると、通信やテキストメッセージの着信音を設定できます。

28.1

ステップアラートモードトーン

無線機は、無線機通信に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するようにプログラムできます。時間が経つにつれて、アラームトーンは自動的に大きくなります。この機能はステップアラートとして知られています。

章 29

認定アクセサリ リスト

Motorola Solutions では、無線機の生産性を向上させる承認済みアクセサリをご用意しています。

無線機でサポートされているアクセサリの詳細については、次のマニュアルの部品番号で <https://learning.motorolasolutions.com/> を参照してください。

- MN009858A01、MOTOTRBO™ R2 携帯型無線機のアクセサリ リーフレット